



題字 中学部 相澤 璃翔

# ゆめをのせて

令和6年12月2日発行 vol.7

令和5年度「いじろ見逃しゼロ標語・ポスター」金賞受賞小学部共同作品

## 中学部 職場体験学習(ふれあいミニジョブ)・校内実習



妻有農産でこのポットにシートをまいたり、ケースに並べたりしました。



めぐらんどで大型遊具や体育館の物品を拭くなどの清掃活動をしました。



校内実習でチラシ折りなどの軽作業や西体育館などの清掃をしました。

## 小・中学部 同世代間交流(川治小・東小・川西中)



川治小とゲーム等で交流



東小とゲーム等で交流



川西中とスポーツ交流

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。今月、児童生徒は様々な活動に取り組みました。

中学部2・3年生は職場体験実習(ふれあいミニジョブ)、1年生は校内実習に取り組みました。職場体験実習では、市内の4つの事業所にお世話になりました。今年度から「妻有農産」と「ミートコンパニオン」からも受け入れていただき、仕事をさせていただきました。いつもよりも長い時間の仕事にもあきらめずに取り組む姿から生徒の成長を感じることができました。1年生も校内実習を通して「働くために必要な力」に気付く機会となりました。この経験が、日頃の学習への取り組みにつながり、さらに成長していけるよう支援を続けていきます。

また、小・中学部で同世代間交流に取り組みました。小学部は、15日(金)に川治小、26日(火)に東小と、中学部は、15日(金)に川西中と、それぞれ交流を行いました。十日町小学校以外の同世代の仲間とゲームやクイズ、運動などを通して触れ合う貴重な時間となりました。「保育園が一緒だった」「久しぶりに会った」などの声が聞かれるなど、つながりを感じる和やかな交流活動となりました。



## この地域におけるふれあいの丘支援学校の役割

～1年間取り組んできた「中学部商店街訪問学習」から～

校長 上松 武

中学部の生徒が1年を通じて、4つのグループに分かれて2～3店舗を担当し、ショップバッジの受注・製作・納品に取り組んできました。この一連の学習では、お店の方々のご要望を、失礼のない対応で聞き取り、ショップバッジを仕上げることを経験し、この先の「働くこと」を自分事として考えることをねらいとしてきました。12月19日にまとめの発表会を実施します。生徒たちが何を学び、将来にどう結び付けるのか、今からワクワクしています。



もう一つ、ねらいがあります。このような定期的なかかわりを持たせていただくことで、障がいのある人も障がいのない人も、誰もが自分らしく暮らせるためには何が必要なのか、お店の方々の率直なお気持ちやお考えを伺い、学校で何ができるのか考えて実行するということです。今年度ショップバッジの製作依頼のあったお店の方々に、次の3つの質問をさせていただき、そのうちの質問③の回答をまとめてみました。

質問① ショップバッジはどのように使われますか。

質問② 訪問した生徒たちの話し方や態度はどうでしたか。

質問③ 障がいのある人もない人も、誰もがその人らしく暮らせるためには何が必要だと思いますか。

### 質問③の回答一覧

A店	B店	C店
・例えば、書くのに時間がかかるのであれば待つてあげるように、その子に合わせた <u>ほんの少しの気遣い</u> が必要だと思います。	・どんな人とも <u>分け隔てなくかかわることが</u> 大事。そして、分かりやすく伝えたり話しやすい雰囲気を作ることも必要だと思います。	・仕事柄、障がいのある方も来ます。 <u>分け隔てなく対応することが</u> 必要だと思います。
D店	E店	F店
・何回もお店に足を運んでくれたように、 <u>もっとたくさんの交流の場がある</u> といいと思います。	・ <u>障がいのある人もない人もお互いに接していくことが大切</u> 。ふれあいのような活動がもっとできると、かわる機会になっていきます。	・よく障がいのある人が来られます。分かりやすく丁寧に対応することを心掛けています。 <u>何を求めているのか分かってもらうことが大事</u> です。

上の表のように、「ほんの少しの気遣い」「分け隔てないかかわり」「何を伝えたいのか分かろうとする心持ち」、そして「たくさんの交流（かかわり）の場が必要である」といった声を聞くことができました。

では、学校として何ができるのか。このような考えを受けて、次のことを教育活動として具体的に計画し実施していこうと考えています。

- ①今よりもたくさんの方からふれあいの丘支援学校に足を運ぶようにし、本校の子どもたちとともに活動する学習を仕組むこと
- ②今よりも子どもたちが地域に出掛け、地域の方とともに活動することを通して、深くかわる学習を仕組むこと

「ふれあいから発信する」スタイルをより鮮明にしながら、分け隔てすることなく、ほんの少しばかりの気遣いが体感できる「ともに活動する」ことを数多く仕組んで実践していきます。

# 保健の窓

## ☆しもやけに注意しましょう

しもやけになりやすいのは、冷たい風にさらされる顔や、冷えやすい手足などです。しもやけになると、耳や鼻のあたま、耳たぶ、手や足の指、かかとが赤くなったりはれたりします。また、かゆくなったり、ジンジンと熱い感じがしたりすることもあります。さらにひどくなると、水ぶくれができたり、出血したりすることもあります。

〈しもやけの予防〉

### 1 寒さを防いで暖かくする

外に出るときは、手袋、マフラー、マスク、耳当て、帽子などを身につけ、冷たい空気から皮膚を守りましょう。



### 2 湿気や汗に注意

手袋や靴下の中で汗をかいたままにすると、かえって体が冷えてしまいます。汗はこまめに拭きましょう。



### 3 手洗いの後はハンカチやタオルで拭く

手を洗った後、皮膚が湿ったままの状態が続くと、手や指先が冷えてしまいます。ハンカチやタオルできちんと手を拭きましょう。



### 4 保湿クリームなどをぬる

しもやけになりやすい所は皮膚が乾燥しないように、保湿クリームなどを塗りましょう。



## ☆11月歯の衛生月間でした

中学部は、歯科衛生士 小島様から歯科講話がありました。毎年同じ内容を教わることで、歯と口腔の知識・正しいみがき方が身につきます。

主な内容です。

- ①おやつは、歯にこびりつきにくいものを選ぶ
- ②歯ブラシの交換目安
- ③歯ブラシのもちかたは鉛筆持ち
- ④ブラッシングは「やさしく 細かく」

小学部は養護教諭が歯みがき指導を行いました。奥歯をみがく時、1番奥の歯に歯ブラシをあててみがくことの大切さを話しました。



## 今後の予定

### 12月の予定

2	(月)	外国語活動
3	(火)	中学部郡市集合学習
4	(水)	小学部ビッグフェスタ 中3年 中高連携事業
5	(木)	全校朝会、人権教育・同和教育強調 週間(~12日)
6	(金)	小学部同世代間交流(西小)
7	(土)	ほほえみの会クリスマス会
12	(木)	中学部小千谷震災そなえ館見学
17	(火)	小学部ウィンターパーティー
24	(火)	2学期 終業式(給食後13:30下校)
25	(水)	冬休み
30	(月)	年末・年始の休日 (~1月3日)

## お矢口今せ

### 第2回学校運営協議会がありました

11月7日(木)に第2回学校運営協議会が開かれました。学校からこれまでの学校の取組について説明したのち、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。今年度から始めた同世代間交流については、「取組は大変意義があること、継続してほしい」、「実施の仕方に工夫が必要」、「成果の把握の仕方を工夫」など、様々な視点からのご意見を伺う機会となりました。いただいた意見を、後期の学校経営に生かしていきたいと考えています。

### 赤い羽根共同募金ご協力ありがとうございました!

今年度の募金総額は3,363円でした。集まったお金は、新潟県内の福祉活動に使われます。ご協力いただきありがとうございました。



### 第1回同窓会役員会がありました!

11月11日(月)に令和7年度の総会に向けた、第1回同窓会役員会が行われました。今年度同窓会を立ち上げて、初めて8月に開催した「発足式並びに総会」の反省点から、来年度に向けての検討をしたり、今後の同窓会の基本的な進め方について話し合ったりしました。『同窓生がつくり出す同窓会』『同窓生保護者がつながる同窓会』を基本方針に、総会の交流活動を同窓生が企画・運営していくなどのことが確認されました。



いじめ見逃しゼロ 県民運動

深めよう絆にいがた県民会議

十日町市立ふれあいの丘支援学校

〒948-0022 新潟県十日町市学校町1丁目614番地32

TEL 025-752-7471 FAX 025-752-7472

✉ fureainooka-tk@edu.city.tokamachi.niigata.jp

